

令和4年度事業報告書

当センターは、昭和58年開館以来、伝統的工芸品指定6産地をはじめ県内地場産業の振興拠点施設として、効率的な事業運営を行いながら関連業界や地域と連携し、県内の伝統産業の普及拡大に努めてきている。令和2年10月に御旅屋セリオ2階において移転リニューアルオープンして2年半が経過し、この間、中心市街地の立地と公共交通機関のアクセスが良くなったことを活かすため各種PRに努めている。

令和4年度は、県内外の方々に伝統工芸品をPRするため10月の移転周年記念イベントのほか、クラフト市場街や日本海高岡なべ祭りと同時期にもものづくり体験を開催するなど周辺イベントと連携し、にぎわいを創出するとともにZIBAへの集客を図った。

新たな取り組みとしては、施設充実を図り顧客ニーズに対応するためZIBAショップに新たに展示台を設け地場産品の食品や生活用品、小物の販売を拡充し、産業資料館においても新たに工程見本や伝統工芸士作品などを展示するエリアと展示台を設け、伝統的工芸品の魅力を分かりやすく紹介することに努めた。

また、販路開拓事業においても毎年出展している「東京インターナショナル・ギフト・ショー」のほかにアメリカ・カリフォルニア州サンフランシスコにあるジャパンセンターで開催された「クラフトヴァレーフェア」に出展し、高岡銅器、漆器、菅笠の伝統工芸品の魅力をPRし、新規顧客獲得に向けた需要開拓に努めた。

主な資金収支の内容としては、事業活動収入の事業収入が50,026千円で対前年45,967千円に対し、4,429千円の増収となった。このうち、新型コロナウイルス感染症が落ち着きを見せ観光客が戻り始めたことなどにより、センター展示場販売や御車山ギャラリーSHOP販売が増収となり、ふるさと納税の返礼品も引き続き好調に推移した。また、その他手数料収入の新高岡駅販売手数料についても順調に回復してきており増収となり、業活動収入計は134,992千円で対前年126,291千円に対し、8,701千円の増収となった。

一方、事業活動支出の事業費支出では、計画的な委託費の引き下げによる委託費支出の減少やものづくり体験に使用する材料費支出が減少した。また、前年度出展を見合わせたギフトショーへの出展により会場整備費が増加し、センター展示場等の販売増に伴い展示即売仕入支出も増加となった。管理費支出では、賃借料支出や委託費支出の減少などにより、事業活動支出計は130,262千円で対前年123,593千円に対し、6,669千円の増加となり、事業収支差額は4,730千円となった。

そのほか、投資活動支出として2,723千円を計上し、事業活動、投資活動、財務活動の収支差額を合わせた当期収支差額は2,008千円となり、前期繰越収支差額16,535千円を加えた次期繰越収支差額は18,542千円となった。

【公益目的事業】

1 地場産業拠点施設運営事業

(1) 高岡地域地場産業センター設置管理事業

ZIBA 展示場や体験工房等の施設について、適宜清掃等により明るく利用しやすい施設維持を行った。

(2) 施設貸出事業

公益目的事業に合致した事業を行う団体が利用するミーティングルームやものづくり体験工房（鋳物、漆器）等の諸室について管理を行った。

2 地場産業普及開拓事業

(1) 販路開拓事業

① 「東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2023 第 13 回 LIFE×DESIGN」への出展

伝統工芸品産業支援事業を活用し、各伝統的工芸品産地から出展希望事業者を集い全国的な見本市である「東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2023 第 13 回 LIFE×DESIGN」へ出展した。出展においては、6 産地団体をとおし募集したところ高岡銅器 8 社、越中和紙 1 社からの申込みがあったことから合計 9 社の出展とした。当センターでは、出展商品が効果的に見える展示方法や商談しやすいような空間づくりなどを設計業社と打ち合わせし、展示空間をプロデュースした。展示会は、総来場者数 229,968 人あり、当センターブースにおいても 235 件分の名刺交換があり、多くの集客を得ることができた。

・期間 令和 5 年 2 月 15 日(水)～17 日(金)

・場所 東京ビックサイト東展示棟 東 4 ホール

② 「令和 4 年度クラフトヴァレーフェア」への出展

アメリカ・カリフォルニア州サンフランシスコにあるジャパンセンターのポップアップストアで開催された「クラフトヴァレーフェア」に出展し、高岡銅器、漆器、菅笠の伝統工芸品の魅力を PR し、新規顧客獲得に向けた需要開拓に努めた。

・期間 令和 4 年 10 月 1 日(土)～2 日(日)、7 日(金)～9 日(日)

・場所 アメリカ合衆国カリフォルニア州サンフランシスコ

(2) 地場産業品普及事業

① 全国の地場産業振興センター等と連携するイベントへの出展、企画イベント開催

全国の地場産業振興センター等が開催するイベントに高岡地域の伝統的工芸品や地場産品等を出展・紹介し、地場産品の PR を行った。

ア 「燕三条じばさん感謝祭 2022」への出展

・期 間 令和 4 年 12 月 2 日(金)～4 日(日)

- ・場 所 燕三条地場産業振興センター 1階多目的大ホール
- ・出品物 銅器・漆器・菅笠の工芸品、昆布や煎餅などの食品

② 観光関連事業への参加協力

ア 「三協立山アルミ 2022 新商品展示会」

- ・期 間 令和4年4月9日（土）
- ・場 所 静岡県静岡市 ツインメッセ静岡
- ・出品物 銅器・漆器の工芸品、昆布や銘菓などの食品、地酒

イ 「第71回金沢百万石まつり」

- ・期 間 令和4年6月4日（土）～5日（日）
- ・場 所 石川県金沢市 金沢城公園
- ・出品物 銅器・漆器・菅笠の工芸品、昆布や煎餅などの食品

③ 高岡地域地場産業センター展示場を利用した県内地場産品情報の提供

展示販売場において、季節に合った伝統的工芸品や県内地場産品の展示紹介を行った。

ア 端午の節句、御車山祭り、母の日、春商品の展示

- ・期 間 令和4年4月1日～
- ・主な商品 兜飾り（高岡銅器）、鯉のぼり（越中和紙）など

イ 父の日、夏商品の展示

- ・期 間 令和4年5月19日～
- ・主な商品 錫製ビアカップ（高岡銅器）、風鈴（高岡銅器）など

ウ 秋商品の展示

- ・期 間 令和4年8月25日～
- ・主な商品 しおり、人形（越中和紙）など

エ 冬商品、クリスマス、お正月商品の展示

- ・期 間 令和4年10月4日～
- ・主な商品 干支置物（高岡銅器、越中和紙）、お正月商品（高岡漆器、庄川挽物木地）など

オ 桃の節句、春商品の展示

- ・期 間 令和5年1月26日～
- ・主な商品 雛飾り（高岡漆器、井波彫刻、越中和紙、庄川挽物木地）など

カ 端午の節句、御車山祭り、春商品の展示

- ・期 間 令和5年3月9日～
- ・主な商品 兜飾り（高岡銅器）、鯉のぼり（越中和紙）など

④ 県外への地場産品情報の提供

ア 日本橋とやま館での展示

- ・期間 令和4年7月16日（土）～18日（月）

- ・場所 東京都中央区 日本橋とやま館
- ・内容 高岡銅器、高岡漆器、井波彫刻、庄川挽物木地・越中和紙、福岡菅笠の工芸品の展示。産地紹介パネルの設置。鋳物体験の開催。

⑤ 「高岡御車山会館ギャラリーショップ」の運営

山町筋において、伝統的工芸品を中心としたギャラリーショップを運営し、地域内外の方々へ魅力的な情報発信に努めた。

⑥ イオンモール高岡西館「T. O C U L」の運営協力

㈱ジェック経営コンサルタントが運営するイオンモール高岡西館「T. O C U L」に協力をを行い、県内地場製品の普及に努めた。

(3) 来館者誘致事業

御旅屋セリオ2階への移転を屋外から認知してもらうとともに周知を図るため、御旅屋セリオの南側壁面に横 4.5m、縦 3.6mの看板を設置し、来館者の誘致に努めた。また、新高岡駅の新高岡駅観光交流センターGALLERY MONONO-FUや高岡御車山会館ギャラリーショップに当センターのポスターやチラシを掲示するなど、3施設間相互の誘客に努めた。

(4) 地場産業情報提供事業

①HP等を利用した情報発信

公益目的に沿うようホームページを活用し、財団事業についての概要説明や情報提供の充実を図るとともに、当地域の地場産業や代表商品の魅力、使い方等をより具体的に紹介できるよう情報発信に努めた。

②高岡地域地場産業センター展示スペース等を利用した情報提供

事務室前通路等に伝統工芸PRパンフレットを設置し情報発信を行ったほか、Z I B Aショップ内の展示スペースを活用し、新商品開発の発表などの企画展示を実施した。

- ・令和4年9月2日～5日 第52回高岡漆器展示会(伝統工芸高岡漆器協同組合主催)

③産業資料館による情報提供(充実)

県内の伝統的工芸品の歴史や製造工程をパネルで紹介する産業資料館を活用し、県内6産地の伝統的工芸品のPR、普及を図った。令和4年度においては、新たに工程見本や伝統工芸士作品などを展示するエリアと展示台を設け、より伝統的工芸品の魅力を分かりやすく紹介することに努めた。

④御旅屋セリオからの情報発信

イベントや商品の案内だけでなく、ものづくり体験に来られたお客様の体験の様子や、実施したイベントの様子を当財団のHPやSNSで発信し、お客様に身近に感じてもらえるような情報発信に努めた。撮影スタジオST@R-ZIBAは、地場産業企業を中

心に各社の EC サイトに掲載する商品写真の撮影に活用された。当財団のオンラインショップ商品も ST@R-ZIBA で撮影し、サイトの充実、改善に取り組んだ。

3 人材育成事業

(1) 青少年育成事業

伝統的工芸品への理解と「ものづくり」への関心を高めるため、体験工房、展示販売場、産業資料館を活用し、小・中・特別支援学校の児童・生徒の体験実習を支援した。令和4年度の体験実習は、1,110人(昨年度793人)であった。

①「ものづくり・デザイン科」授業の実習支援

鋳物体験工房や漆器体験工房、展示販売所、産業資料館を活用し、高岡市内小・中学校の「ものづくり・デザイン科」体験教室に支援・協力を行った。令和4年6月9日を初回に、年間12日間にわたって延べ9校が体験実習した。

ア 鋳物の体験（錫の鋳込みを実習）

・小学6年生9校（499名）

イ 漆器の体験（螺鈿貼りを実習）

・利用なし

ウ 産業資料館、ZIBAの見学

・小学5年生11校（611名）

②教職員等指導者の育成

小・中学校教職員を対象にした「ものづくり・デザイン科」授業に必要な技術・知識習得と指導者養成のため、1講座2日（6時間）の講座を鋳物体験及び漆器体験について各々1講座開催した。

鋳物体験講座受講者数9名。漆器体験講座受講者数12名。

・漆器体験講座 令和4年7月25日(月)、8月1日(月) 午前9時～12時

・鋳物体験講座 令和4年7月25日(月)、8月1日(月) 午後1時半～4時半

(2) 工芸技術体験普及事業

高岡市民はもとより広く工芸技術を体験できる機会を提供し、鋳物・漆器・特別体験に合わせて1,109人(昨年度1,276人)の利用があった。

・鋳物体験（ミニ水盤、ぐいのみ） 363人(昨年度463人)

・漆器体験（ペンダント、ミニパネルなど） 191人(昨年度156人)

・特別体験 555人(昨年度657人)

(内訳)

朱塗りスプーンへの絵付け体験	27人
菅コースター体験	37人
移転周年イベント6産地体験	370人
なべ祭りイベント6産地体験	121人

4 地場産業支援事業

(1) 商品開発支援

商品企画の継続・充実とその展開のため各販売施設における販売実績・POSデータを利用する独自の販売集計システムにより、販売実績を迅速に処理し、産地組合等へ販売情報を提供した。また、ZIBA展示場のPOS管理データを活用し消費者ニーズ分析を行い業界へのマーケティング支援として情報提供した。

(2) 産業支援事業

①事務運営による団体支援

ア 高岡地域文化財等修理協会

総会、部会長会議の開催や販路開拓事業、文化財修理等における事業に対して事務支援を行った。

イ 富山県伝統工芸士会

総会、役員会、正副会長会議の開催や富山県伝統工芸士展等の事業に対して事務支援を行った。

ウ 富山県伝統産業協議会

各伝統工芸品産地組合が実施する小・中学生を対象とした「伝統工芸品ふれあい教室」の開催等に対して事務支援を行った。

②団体に対するその他の支援

公益目的に合致する任意団体等の活動に対し助成を行った。

ア 高岡伝統産業青年会

高岡の伝統産業（技術・作品等）を発信・PRする第28回『くらしに生きる伝統のかほり展』を支援した。

(ア)「高岡クラフトマルシェ」の開催

- ・期間 令和4年9月23日(金)～9月24日(土)
- ・場所 高岡市営高岡中央駐車場（高岡市下関町6丁目11）
- ・内容 会員企業の製品・技術に関する展示

(イ)「デザインマッチング中間報告会」

- ・期間 令和5年2月22日(水)
- ・場所 高岡商工会議所403号室
- ・内容 「デザインマッチング」制作物の発表

イ 伝統工芸高岡漆器協同組合

高岡漆器展示会の開催、全国漆器展への出展等の事業実施に対して支援した。

(ア)「高岡漆器展示会」の開催

- ・期間 令和4年9月2日(金)～9月5日(月)
- ・場所 (公財)高岡地域地場産業センター

(イ)「第57回全国漆器展」への出展

- ・期間 令和4年9月16日(金)～9月29日(木)
- ・場所 東京都港区 伝統工芸青山スクエア
- ・主催 日本漆器協同組合連合会、(一社)日本漆工協会、(一財)伝統的工芸品産業振興協会

(ウ) 伝統工芸青山スクエア常設展

- ・期間 令和4年4月1日(金)～令和5年3月20日(月)
- ・場所 東京都港区 伝統工芸青山スクエア

(エ) 伝統的工芸品月間国民会議全国大会

- ・期間 令和4年11月17日(木)～11月20日(日)
- ・場所 愛知県

ウ 高岡巧美会

伝統的工芸品である高岡銅器・高岡漆器への理解と普及を図るため、消費地である東京にて開催する「ものづくりのまち高岡が誇る伝統の技！高岡の伝統工芸品展」に対して支援した。

- ・期間 令和4年10月28日(金)～11月3日(木)
- ・場所 伝統工芸青山スクエア(東京都港区)

エ 工芸都市高岡クラフトコンペ実行委員会

地場産業と全国のデザイナー・クリエイターの交流をはかり、新たな産業の育成や異業種との連携を促すことなどにより伝統産業の振興を目的としたクラフトコンペティションに対して支援した。

- ・期間 令和4年9月23日(金)～25日(日)
- ・場所 御旅屋セリオ2階特設会場

オ 富山県伝統工芸士会

富山県内の伝統的工芸品の伝統工芸士が制作する作品の展示をすることにより、伝統工芸の技術と魅力を伝え、また新たな作品作りへの情報収集の場とすべく開催する第25回富山県伝統工芸士展事業に対し支援した。

- ・期間 令和4年8月4日(木)～7日(日)
- ・場所 御旅屋セリオ2階 正面エレベーター前スペース

カ 富山県伝統産業協議会

小・中学生を対象に、伝統的工芸品の製作技術や手作り品への愛着を将来に向けて継承していくため、伝統的工芸品の制作体験をとおり、理解や興味を深めてもらうことを目的とした事業に対して支援した。

(ア) 銅器に親しむつどい

- ・開催日 令和4年12月3日(土)
- ・場所 高岡地域地場産業センター ものづくり工房鋳物

- ・内 容 「錫製バンゲル」の製作
- (イ) 漆器に親しむつどい
 - ・開催日 令和4年7月30日(土)
 - ・場 所 高岡地域地場産業センター ものづくり工房漆器
 - ・内 容 青貝塗り加飾の体験(小箱)
- (ウ) 井波彫刻の体験教室
 - ・開催日 令和4年7月24日(日)、令和4年9月18日(日)
 - ・場 所 南砺市福野文化創造センターヘリオス、井波彫刻総合会館
 - ・内 容 木彫りの獅子木札塗り体験
- (エ) 庄川挽物木地の体験教室
 - ・開催日 令和4年10月20日(木)
 - ・場 所 砺波市立庄川小学校
 - ・内 容 伝統的工芸品の学習、木の盆への絵付け体験
- (オ) 越中和紙の体験教室
 - ・開催日 令和4年7月20日(水)、令和4年10月21日(金)
令和4年11月2日(水)、令和4年11月11日(金)
 - ・場 所 五箇山和紙の里、桂樹舎
 - ・内 容 和紙工場見学、手すき和紙製作体験
- (カ) 越中福岡の菅笠の体験教室
 - ・開催日 令和4年11月15日(火)
 - ・場 所 高岡市立福岡中学校
 - ・内 容 豆笠の製作体験

5 技術継承支援事業

高岡地域文化財等修理協会の事務局として、現地調査や見積作成、依頼者との連絡調整を行う等、協会の機能強化を図るための事務的支援を行った。

また、山車等の修理における修理工程の記録や、作業工程・計測データの収集を行い、工芸技術の保存継承に資する資料の整備にも努めた。

【収益事業】

1 不動産貸事業

旧施設において営業中の入居者に対し、必要とする範囲の貸付けを行った。

2 一般品目販売事業

施設利用者の利便に供する飲料品や観光土産品等、公益目的に合致しない商品については、展示場販売額の1割を目安に取り扱った。令和4年度は、新たに展示台を増設し地場産品の食品や生活用品、小物を取り揃え、観光客向けのお土産コーナーの充実を図った。

【管理事業（法人会計）】

1 理事会・評議員会の開催

当センターの適正・円滑な運営を図るため、理事会・評議員会を開催した。

(1) 理事会

① 第36回理事会(書面)

- ・開催日 令和4年4月1日(木)
- ・議案 専務理事(業務執行理事)の選定について

② 第37回理事会

- ・開催日 令和4年5月20日(金) 午前10時00分～10時45分
- ・議案 令和3年度事業報告について
令和3年度収支決算の承認について
定時評議員会への議案提出について
- ・出欠 理事 出席8名、欠席3名
監事 出席2名

③ 第38回理事会(書面)

- ・開催日 令和4年7月12日(火)
- ・議案 令和4年度収支予算の補正について

④ 第39回理事会

- ・開催日 令和5年3月27日(月) 午後1時30分～2時02分
- ・会場 高岡地域地場産業センター ミーティングルーム
- ・議案 令和5年度伝統産業支援事業助成金の審査・選考について
令和5年度事業計画について
令和5年度収支予算について
資金調達及び設備投資の見込みについて
- ・出欠 理事 出席10名、欠席1名
監事 出席1名、欠席1名

(2) 評議員会

① 第1回評議員会(書面)

- ・開催日 令和4年4月1日(金)
- ・議案 役員の選任について
評議員の選任について
役員報酬規程の改正について

② 第2回評議員会(書面)

- ・開催日 令和4年5月20日(金)
- ・議案 評議員の選任について
役員の選任について

③ 定時評議員会

- ・開催日 令和4年6月6日(月) 午後15時00分～15時40分
- ・議案 令和3年度(公財)高岡地域地場産業センター収支決算について
役員の選任について
- ・報告事項 令和3年度(公財)高岡地域地場産業センター事業報告について
- ・出欠 出席9名、欠席2名

④ 第3回評議員会(書面)

- ・開催日 令和4年10月31日(月)
- ・議案 評議員の選任について

2 全国地場産業振興センター協議会への参加

令和4年度は、栃木県南地域地場産業振興センターが会長センター、当センターが開催地センターとなり、新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、従前の規模を縮小し、かつ会場を集まりやすい都市圏において「令和4年度全国地場産業振興センター協議会総会及び情報・名刺交換会」を3年振りに開催した。

- ・開催日 令和4年7月8日(金) 午後1時45分～午後4時30分
- ・会場 ウィンクあいち

(1) 情報・名刺交換会

(2) 総会

- ・議案 令和3年度事業報告及び収支決算について、監査報告
令和4年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
令和4年度会費の変更について
令和4年度研修事業について
次期総会開催センターの決定について
- ・協議事項 令和4年度物産展調査について
会員の退会について

- ・事例発表 「地場産センターの新たな取組・事業について」
 - ・公益財団法人 高岡地域地場産業センター
 - ・公益財団法人 燕三条地場産業振興センター
 - ・公益財団法人 丹後地場産業振興センター